

食べて応援、作って応援

# 親子でつくろう!

ベランダ菜園



栽培の難易度

難 **中** 易

コンテナの大きさ



深型または袋作り

ジャガイモ  
(ナス科)

あると便利な  
常備野菜

ベランダ  
栽培の  
ポイント

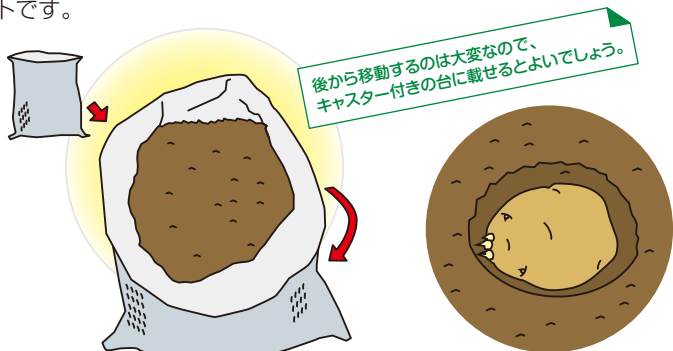
- 1 植えつけ時は土を容器の半分程度にし、生育に応じて増し土をする。
- 2 大きな芽を1~2本残して、他の芽はかき取る。
- 3 芽かきの頃と蕾が付き始めた頃の2回、追肥と増し土をする。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
植えつけ期間												
収穫期間												

適応性が強く土質を選ばないので、栽培しやすい野菜です。生育温度は20℃前後と涼やかな気候を好みます。おなじみの「男爵」「メークイン」のほか、「キタアカリ」「アンデス赤」など新品种があります。ウイルスに罹病していない専用の種イモを使いましょう。

## 1 スタート 植えつけ

根菜類のジャガイモは、土がたっぷり入る大きなコンテナや袋で育てましょう。増し土をしながら育てるので、初めは半分くらいからスタートです。



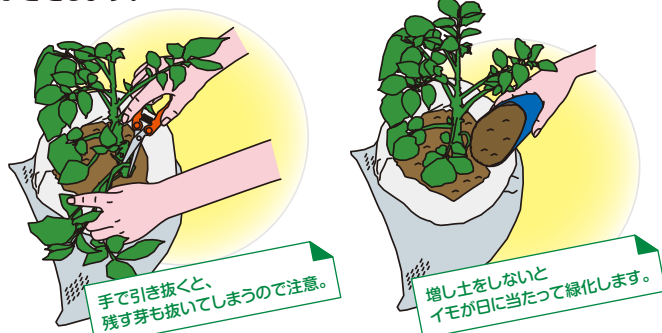
後から移動するのは大変なので、キャスター付きの台に載せるとよいでしょう。

1. 50×60cm程度の大きく丈夫な袋を準備し、土を半分くらい入れる。袋の上部は折り返しておき、必要に応じて伸ばしていく。

2. 種イモは芽のあるところを均等に分けるように1片30~40gにカットし、切り口を下にして袋の中央に埋め込む。周囲の土を寄せて、5~6cmの厚さに土をかぶせる。

## 2 6週間後 芽かき・追肥・増し土(1回目)

3週間ほどで発芽、6週間後には草丈10~15cmくらいになります。このまま複数の芽を伸ばしたままだと小さなイモしかできないので、芽かきをします。



手で引き抜くと、残す芽も抜いてしまうので注意。

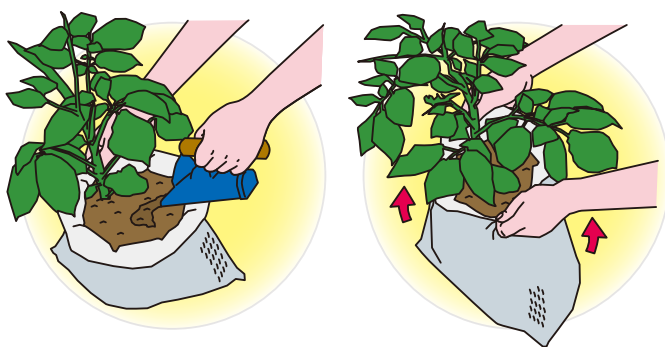
増し土をしないとイモが日に当たって緑化します。

1. 大きく元気のよい芽を1~2本残して、他をさみで根元から切り取る。

2. 折り返した袋の端を少し伸ばし、あらかじめ土1畝につき1gの化成肥料を混ぜ込んだ用土を7~10cmくらい入れて、株の根元まで増し土する。たっぷり水やりする。

## 3 8~9週間後 追肥・増し土(2回目)

蕾が付き始めたら、2回目の追肥と増し土をします。コンテナ栽培の場合、増し土がイモの出来を決める大きなポイントとなります。



袋の折り返しを伸ばし、前回同様化成肥料を混ぜ込んでおいた用土を同じくらい入れる。たっぷり水やりする。

## 4 13週間後 収穫

追肥、増し土は2回で、その後は放っておいて大丈夫。花が終わって茎や葉が枯れてきたら、いよいよ収穫です。株元をしっかりと持って引き抜きます。



茎や葉が黄変し、枯れてきたら掘り出す適期。株についてくるイモだけでなく、土中にもイモが残っていることがあるので、とり残さないよう丁寧に探る。

## JAのフレッシュライス

JAとうと「ふれあいパーク浅野」では、玄米をキログラム単位で精米するフレッシュライスを提供しています。地元産のコシヒカリ、ミネアサヒ、ミルクQueen、ハツシモから新潟コシヒカリ、山形県のつや姫等ブランド米も取り揃えています。ぜひ一度お試しください。

ふれあいパーク浅野 営業時間/9:00~17:00 日祝日休業  
TEL 0572-54-7788

